

## Press Release「ありきたり」(6曲入りEP) 井上美喜

香川県高松市在住のシンガーソングライター井上美喜が6曲入りEP「ありきたり」をリリース

香川県高松市丸亀町商店街、毎週木曜日午後9時になると力強く、そして時に切ない歌とギターが響き渡る。中学2年の時、彼女は家にあったギターを持ち出し路上へと向かった。そして弾き方もろくに分からないまま、とにかくギターを鳴らし、歌いはじめた。「誰にも負けたくない!」そんな負けん気だけがむしゃらに歌っていた時期もあった、しかしそんな気持ちも長い時間をかけ少しずつ変化してきた。

2017年、路上で歌いはじめて16回目の夏、井上美喜の最近の曲を中心に新旧6曲のオリジナルを弾き語りを含めた様々なアレンジで彩り、EPとしてパッケージした。これまでの彼女をよく知る人、偶然路上で出会った人、このCDを手にして初めて知った人、様々な人達の手で、彼女の素敵な歌声を、パッケージから空気へと解き放ち、心震わせてもらえたらと願って止まない。



### 井上美喜 「ありきたり」(6曲入りEP)

2017年9月25日リリース

税抜価格 ¥926 税込 ¥1,000

IM-001/1CD/JAN : 4562265496791

Artwork : DELTA

流通 : 丸亀町商店街(路上),

Amazon, TowerRecord, 等販路順次拡大予定

#### ■収録曲

01. ライアー
02. プログラム (ゲストミュージシャン: チェロ 古後公隆氏)
03. エンドロール
04. ココロ
05. ありきたり
06. おやすみ (井上美喜 弾き語り)

#### ■「ありきたり」特設サイト

[ 試聴動画, その他情報 ]

<http://arikitari.com/>



#### ■概要

香川県高松市在住のシンガーソングライター井上美喜が6曲入りのEPをリリースいたします。

14才の時から高松で路上ライブを始めた彼女はこれまで地元高松にてソロ・複数のユニットで活躍し、ライブハウス、各種音楽イベントへの出演をしながらも高松丸亀町商店街での週1回の弾き語り路上ライブをずっと続けてきました。

そしてライブ活動を始めてから16年目にあたる今夏(2017年)、新旧のオリジナル6曲を、弾き語り、バンドアレンジ、チェロとピアノの二重奏曲等のアレンジで彩り、非常に幅の広いテイストのEP作品としてまとめました。

今回、ゲストミュージシャンとして、NHK「阪神・淡路大震災20年 あの日を胸に“生きる”」テーマ曲などのテレビ番組の作曲、また無声映画の伴奏者として、山寺宏一氏ら人気声優と度々共演をしている京都在住の作曲家、古後公隆氏にチェロのアレンジと演奏をお願いし、アレンジを井上美喜と共作という形で細野晴臣氏、高木正勝氏のリリースでも知られるPROGRESSIVE FORmのコンピへの参加、日本各地の世界遺産、重要文化財でのプロジェクションマッピング、TVCM、国内外の舞台など幅広い分野の音楽を手がける大阪在住の作曲家西村ジュン氏にお願いしました。

本作はボーカル収録を高松(studio sumus)、その他の収録、マスタリング(Studio you)を大阪・京都でという複数拠点でミュージシャン、エンジニアの方々のお力添えを頂きました。